

令和3年度（保土ヶ谷養護学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）【必須】	公務外においても公務員・教員としての自覚を持ち行動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・法令に基づく義務に加え、社会規範を確認し適宜情報提供や注意喚起を行った。 ・チェックリストによる振り返りの機会を作り、他の項目と合わせて管理職が職員と個別に確認する機会を設けた。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を活用し、ポイントを絞って伝えることで、自分ごととして意識できた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止【必須】	相手や周囲の方の気持ちを尊重しつつ、自分の意見を率直に主張できる(アサーション)、働きやすい職場環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会で具体的なハラスメント事例を示し、気持ちをお互いに受け止め、相談しやすい環境づくりを行った。 ・管理職との面接などで意思疎通を図った。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修で具体的な場面を提示することで、よりよい職場環境づくりに意識をもつことができた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須】	決められた指導体制、環境整備、手続きに則り、指導に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導は複数の教員で対応し、密室状態にならない環境を作った。 ・児童・生徒に対し相談体制について周知した。 ・管理職は日常的に巡視し校内環境を確認した。 ・職員として、公務内外において、常に高い倫理観をもち、自身の行動を律し、不祥事（わいせつ事案等）防止を徹底した。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的な場面を想定した動画による研修により、討議等で事案に対する意識を高めることができた。
体罰・不適切な指導の防止【必須】	児童生徒の人権を尊重した指導により、体罰や不適切な指導を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導においては複数の教員で対応し、密室状態にならない環境を作った。 ・児童・生徒に対し相談体制について周知した。 ・人権に関する研修を実施した。 <p>＜達成状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 外部講師の客観的なデータ等の資料を基にした研修により、体罰・不適切な指導の防止及び日常的な人権を尊重した指導への意識を高めることができた。

入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須】	個別教育計画・進路関係書類等の作成・保管・廃棄を適切に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 資料作成方法について学部等で共通理解し、隨時注意喚起を図った。 作成中の保管、印刷後の管理、誤配付がないように、複数人で点検し、作業を進めた。 <p><達成状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 個別教育計画等の取扱いについて、繰り返し注意喚起し、事故防止に努めた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の適正な管理と運用により信頼性の高い業務の遂行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン等私物端末の取扱いの周知を図る。 サーバー及び電子データの定期的な点検管理を行う。 個別教育計画や相談記録等の個人情報の適正な管理・運用と環境整備を行う。 <p><達成状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タブレット端末の貸出、校外学習の際の名簿の持出し等、管理を徹底し、事故防止に努めた。
交通事故防止、酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルールを守り、事故の未然防止及び飲酒運転ゼロを継続する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員啓発資料等により隨時注意喚起を行う。 万が一事故等を起こした際の対応について周知徹底する。 <p><達成状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 24時間公務員であることを周知し、事故防止に努めた。

○ 令和3年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和4年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

* 不祥事ゼロプログラムの目標及び行動計画に基づき、全教職員が各所属の部署・業務に応じて意識して取組を進めてきた。毎月実施の不祥事防止研修会により、テーマに沿って自己を振り返り、意識の向上を進めてきた。

綱紀保持の通知等、不祥事事例を教職員全体で共有することを隨時行い、学校全体で事故・不祥事を防止する意識を高めてきた。

今年度のプログラムについて全体として達成されたものと考えられるが、不祥事防止は、繰り返し行うことによる意義がある。引き続き、風通しの良い学校環境づくりや、会計処理のミス、個人情報の誤配付など、日常的に無意識に行いがちなことを意識することに取り組みたい。

次年度に取り組む課題として、効率化を図ることで、業務方法の改善をめざしたい。その結果、事故・不祥事の発生を防止し、働きやすい職場環境、同僚性の醸成を図り、県民から信頼される学校になると考える。